

Injury Alert (傷害速報) 類似事例

加熱式タバコの誤飲による消化管異物 (No. 121 金属片を内蔵した加熱式タバコの誤飲による消化管異物の類似事例 1)

事例	基本情報	年齢：0 歳 10 か月 性別：男児 体重：10kg 身長：75cm
	家族構成	母、父、兄、本児
	発達・既往歴	つかまり立ち可能、独り立ちは未
臨床診断名		タバコ誤飲、金属片誤飲
医 療 費		入院 93,940 円
原因対象	対象名称	加熱式タバコ 金属片内蔵タバコスティック
	入手経路 使用状況	母は加熱式タバコを使用しており、吸い終わったタバコスティックはタバコスティック製品の箱に入れている。普段は居間のテーブルではなく別の場所に保管している。
発生状況	発生場所	自宅の居間
	周囲の人 周囲の環境	母とともに寝室で就寝していた。寝室は、ワンフロアで居間に続いている。居間のテーブル(高さ約 40cm)に置いてあったタバコスティックの箱に吸い終わったタバコスティックも入っていた。
	発生年月日	2022 年 1 月 X 日 (金) 午前 4 時 30 分
	発生時の 詳しい様子 受診までの経緯	午前 4 時 40 分ごろに寝室で睡眠中の母が、足元で児が啼泣していることに気づいた。その際に、児の近くにタバコスティックの紙を伴う嘔吐痕があり、寝室の隣にある居間のテーブルに置いてあったタバコスティックの箱から吸殻が 3-4 本無くなっていた。本児が誤飲したことが予測され、顔色不良である様に見えたので救急電話相談窓口にご相談したのちに午前 5 時頃に救急要請をした。医療機関への搬送中に救急車で嘔吐を認めた。
医療機関受診時以降の治療経過 転帰		午前 5 時 40 分に受診、活気は良好で消化器症状や意識障害は認めなかった。誤飲を疑われたタバコスティックには金属片が含まれていたため、胸腹部 X 線撮像を行い、胃内に 12mm×4mm 大の金属片を疑う像を確認した。嘔吐症状を認めたことと、金属片による合併症のリスクも考えて入院して経過観察した。金属片は排出されていなかったが無症状であることを確認して X+1 日に退院した。腹部症状などが出現した際には再診を指示していたが、その後の受診はなかった。

キーワード	加熱式タバコ、金属片内蔵タバコスティック、誤飲、消化管異物
-------	-------------------------------

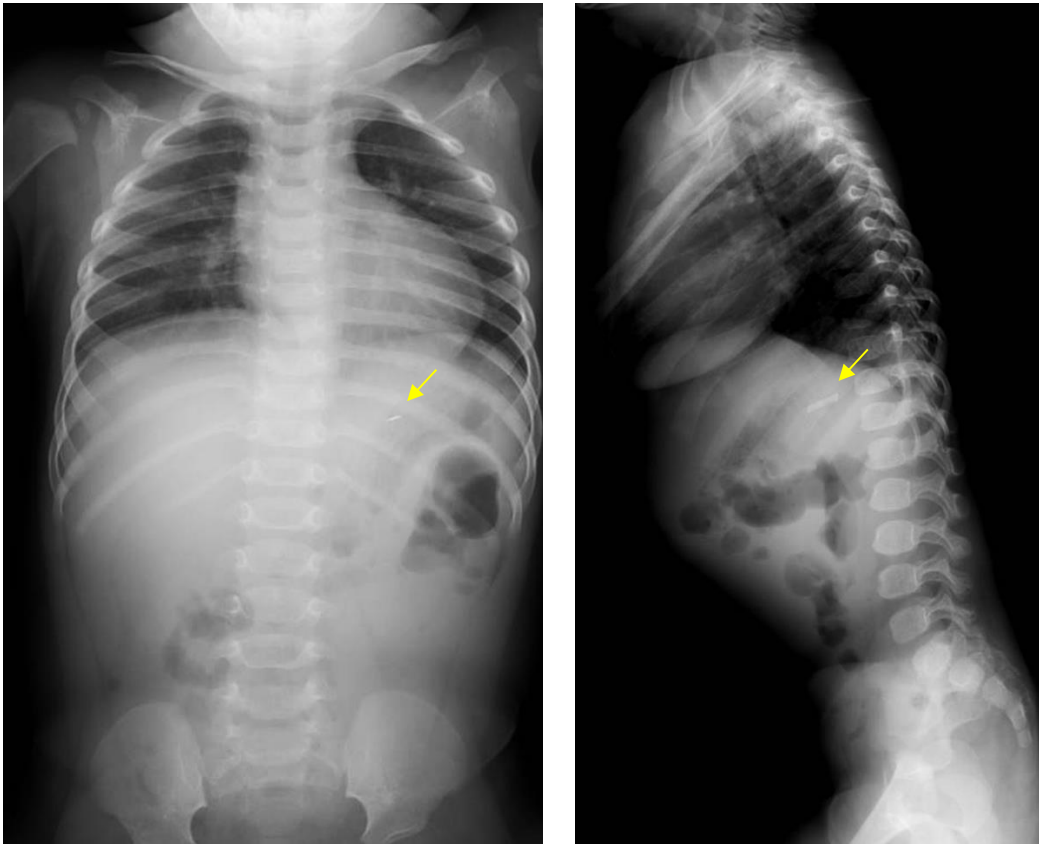


図 1. 来院時の胸腹部 X 線写真

左図：臥位正面像、右図：側面像（右側から撮影）

→の先端に金属片と考えられる異物が存在している

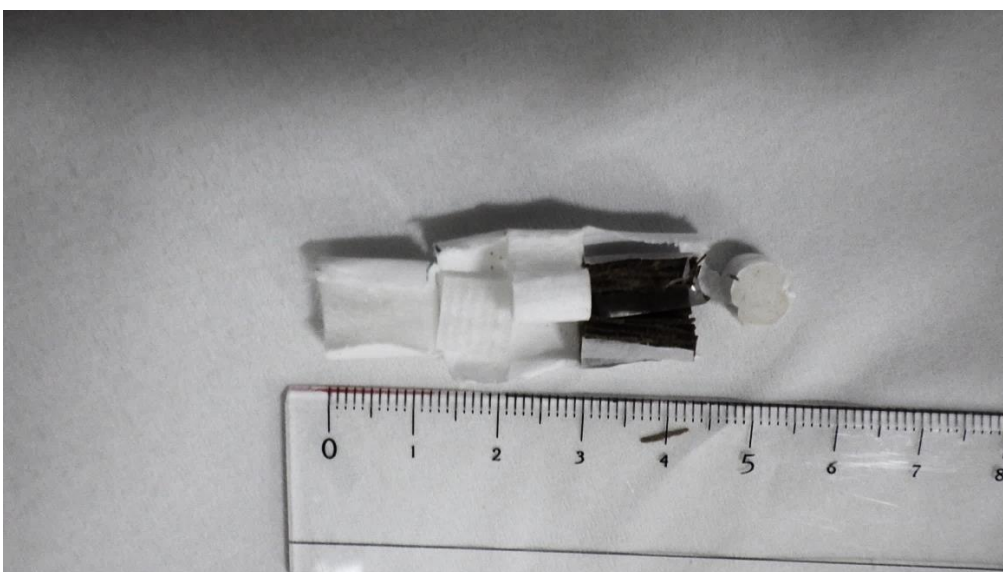


図 2. 誤飲をしたと思われる加熱式タバコ用のタバコスティック

（後日、母が持参した物を分解して撮影）

金属片が内蔵されている